

公立大学法人秋田県立大学教員募集要項

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 機械工学科(本荘キャンパス)
3. 専門分野 ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、3D デジタルものづくりに関する研究を推進するために、CAD/CAM を駆使した 5 軸加工機やアディティブ・マニファクチャリングによる複雑形状加工技術や、レーザ等による 3D 形状の計測技術や表面機能化技術、CAE、数値シミュレーション、デジタルツイン、AI、機械学習を用いたデジタルものづくり支援技術、加工プロセスや変形挙動やトライボロジなどの可視化技術等のいずれかに関わる研究経歴を有し、これらの分野における研究や教育、地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 (学 部) 計算力学、応用数学Ⅰ、応用数学演習(分担)、キャップストーンプロジェクト(企業課題解決 PBL 演習)(分担)、セミナー(分担)、卒業研究指導 など
(大学院) 応用数学特論、高度数値シミュレーション学(分担)、熱流体知能化システム論(分担)、システムシミュレーション(分担)、機械工学専門セミナー(分担)、修士論文指導、博士論文指導など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有すること、または原則として採用日までに取得見込みであること
(2)当該分野の教育と研究に熱意を持っていること、地域貢献にも意欲を持っていること
(3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
(4)採用が決定した場合、確実に着任できること
6. 採用予定日 2026 年 4 月 1 日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5 年の任期制(勤務成績により判断するが、再任回数に制限なし。)
(5)定年 67 歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式 1*による。)
(2)研究業績書(本学所定の様式 2*による。) 学術論文は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なもの 5 編に○をつけてください。
(3)主要論文 5 編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む。)の概要(1,000 字程度)
(5)教育に対する抱負(1,000 字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1,000 字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者 2 名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去 5 年間における獲得状況の一覧
注) *印: 履歴書(様式 1) 及び研究業績書(様式 2)については、ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照ください。
9. 応募締め切り 2025 年 9 月 24 日(水)必着
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接(模擬授業を含む)
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員等による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
提出先: 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 教員選考委員長 西田 哲也
TEL: 0184-27-2000(本荘キャンパス代表)
郵送※1 または JREC-IN Portal Web 応募※2
※1 封筒の表に「機械工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。
※2 必要書類を添付してください。
応募書類は返却しません。

問合せ先: 秋田県立大学システム科学技術学部 機械工学科長 鶴田 俊
TEL: 0184-27-2102(ダイヤルイン)
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20250404_koudou03.pdf)

今回の公募で求める人材像

機械工学科では、学科の研究教育方針に基づき、さらに今後強化すべきスマートプロセスにおける研究分野の観点を加え、ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、3D デジタルものづくりに関する研究を推進するために、CAD/CAM を駆使した 5 軸加工機やアディティブ・マニファクチャリングによる複雑形状加工技術や、レーザ等による 3D 形状の計測技術や表面機能化技術、CAE、数値シミュレーション、デジタルツイン、AI、機械学習を用いたデジタルものづくり支援技術、加工プロセスや変形挙動やトライボロジなどの可視化技術等に関する研究を対象とし、研究や教育、地域資源活用、地域貢献に意欲を持って取り組める人材を求めます。

各領域に関しての具体的な人材像は下記のとおりです。

[教育]

今後、生産システム工学において必要不可欠となるスマートプロセスを理解し、ものづくり基盤技術の知識を有し、CAD/CAM/CAE、5 軸加工技術、3D プリンティング技術、3D 形状の計測技術、デジタルツイン、AI、機械学習などの専門性を有し、ものづくり基盤技術のデジタル変革を持続させる教育を行える人材を求めます。

[研究]

機械工学科では、ものづくり基盤技術の高度化の研究分野において、3D デジタルものづくりに関する研究を推進するために、5 軸加工機やアディティブ・マニファクチャリングによる複雑形状加工技術や、レーザ等による 3D 形状の計測技術や表面機能化技術、ものづくりに関する数値シミュレーションを用いたデジタルものづくり支援技術、加工プロセスや変形挙動やトライボロジなどの可視化技術等に関わる研究を主要テーマに掲げており、これらのテーマに意欲的に取り組める人材を求めます。

[地域貢献]

機械工学科では、ものづくり基盤技術を核とする地域産業に関わる技術開発、共同研究の取り組みが期待されています。特に地域産業では、人口減少、新規雇用が困難な地域にあって、工場のスマート工場化、ものづくり現場でのデータ活用など近々の課題となっており、この面からも、実用性を重視したスマートプロセスを先導し、世界および地域における課題解決に意欲的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

令和7年度 機械工学科大講座グループ構成

基本方針: 機械工学科は、次世代の機械システム創造のために、機械・材料のデザイン、ものづくりプロセス、エネルギー関連技術に関する教育と研究を推進する。

システムデザイン工学講座

●マテリアルデザイン研究グループ

航空宇宙、自動車、エレクトロニクス、医療産業へ貢献する機能性マテリアルをデザインする。結晶構造や原子配列を制御した金属材料や、表面・界面を最適化した複合材料を開発する。材料の機能性、特性、変形や欠陥を解明し、高性能で信頼性の高いマテリアル実現する。

●メカニカルデザイン研究グループ

動く機械システムを、力学解析や数値シミュレーションを駆使し、最適にデザインする。航空機や自動車が効率的に走行・飛行し、回転機械が適切に動力やエネルギーを生み出すシステム、振動を制御した信頼性の高いシステム等をデザインする。

スマートプロセス工学講座

●先端プロセス研究グループ

未来のものづくりを牽引するために、5軸加工などの高度な3次元加工技術、高精度機械加工や半導体プロセスを用いたナノオーダー加工、そしてアディティブ・マニファクチャリングによる形状・表面創製プロセスの高度化を実現する。

●プロセス・インフォマティクス研究グループ

ものづくり基盤技術の高度化のために、インフォマティクスを活用したデータ駆動型プロセス、プロセスの計測・センシング、数値シミュレーション、CAS/CAM、そしてAIといった技術を統合し、ものづくりプロセスの本質を明らかにする。

エネルギー環境工学講座

●応用材料工学研究グループ

持続可能な社会の実現に向け、エネルギーの生成・利用効率を高める機能性材料や、環境に配慮した複合材料、生体材料の研究開発を進める。さらに、材料の高度な接合・成形技術を確立し、多岐にわたる分野での実用化を目指す。

●エネルギー応用研究グループ

再生可能エネルギーを含む発電・利活用システムの高度化を通じて、未来社会に貢献する。低環境負荷を目指し、プラズマやレーザーといった高密度エネルギーの応用研究、熱や多様なエネルギーの効率的な活用、輸送、システムの安全性に関する研究を推進する。